



太鼓を打って面もかぶって

今治南高生500人
能楽の魅力体験

愛媛協会が体験会

高校生が伝統芸能の
能楽に親しむ「能楽ふ
れあいコンサート」が

17日、今治市常盤町7
丁目の今治南高校であ

能楽ふれあいコンサ
ートで、能面をかぶ
る体験をする生徒

り、生徒約500人が
室町時代から伝承され
る文化の魅力を体感し
た。

愛媛能楽協会が主催
し、同会の金剛流能楽
師、宇高德成さんら8
人が笛(能管)、小鼓、
大鼓、太鼓の演奏を
披露した。生徒は和楽
器の優美な音色や「イ
ヨッ、ホッ」と小気
味よいかけ声に聞き
入っていた。体験コ
ーナーで能面をかぶ

【紙面編集】楠田浩司

った生徒は「(見える
範囲が狭く)前に進む
のが難しい」と実感し
ていた。

幽霊の平知盛が源義
経と弁慶に迫る演目
「船弁慶」の後半部分
の実演もあった。

大鼓を打ち鳴らす体
験をした青野功汰さ
ん(17)は「思ったより
難しく、長時間扱う
のは大変と分かった。
見るだけでは分から
ない、いい体験ができ
た」と話した。

(西尾寛昭)